

KITAKEI-Report

No.183
November2024

発行：北恵株式会社 〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14 TEL.06-6251-6701
<https://www.kitakei.jp/>

電化住宅と創エネで家計負担軽減へ～不安定な世界情勢に対応する住宅～

電化住宅は家庭で必要とされるエネルギー源を電力に1本化した住宅のこと、一般的には「オール電化住宅」などと呼ばれます。業界関係者の中にはエネルギーインフラを1本化する際にはリスクも共存するとの指摘がありますが、昨今、電化住宅への注目が集まっています。

その背景として挙げられるのが不安定な世界情勢によるエネルギー価格の乱高下です。家庭で一般的に消費されるエネルギーは電気とガスが挙げられます。これらの料金が中東戦争やロシアによるウクライナ侵攻によって上昇基調にあります。

業界では関東を中心として都市ガス料金が上昇しているとの声もあります。ガスを家庭で作ることは難しくても電気を創ることは可能です。こうした背景の中で電化住宅は注目されています。

さて、政府は「酷暑を乗り切ることを支援する」として、5月分で一度終了した電気・ガス代料金の補助を再び開始しました。

政府からの補助がある一方、生活に必要なインフラの利用料金を補助金に依存することについては不安の声もあります。我が国の情勢が将来どうなるかはいつの時代も不透明です。自らエネル

ギーを生み出す電化住宅はこうした課題の解決に役立つ選択肢といえます。

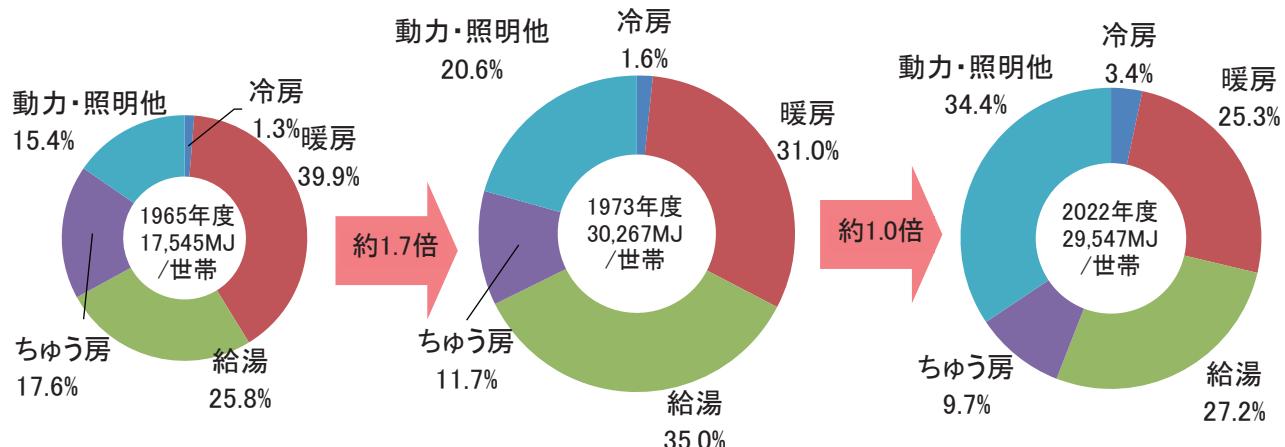
電化住宅に必要な設備機器としてはエコキュートと太陽光発電設備が挙げられます。エコキュートは空気の熱を利用して効率的にお湯が沸かせる装置のことです。

特に給湯器を高効率機器にアップデートするの重要とされます。その根拠は我が国が消費している世帯あたりのエネルギー消費量です。

下図は経済産業省が1年に一度公表している「エネルギー白書」の最新版から抜粋しました。この中に1世帯が消費するエネルギー量の内訳が示されています。2022年度では「給湯」が27.2%と、およそ3割を占めることが分かります。

ちなみに、「暖房」でも25.3%を占めていますが、これについてはエアコンの省エネ性能が向上しているため、買い替えなどで消費電力を抑えることが可能になるでしょう。もちろん、電化住宅の建築を検討する際にはいかに省エネ性能が高い住宅設備を導入するかが重要な視点となります。

さて、高効率給湯器のメリットは省エネ性能だけではなく、夜間電力が安くなる電気料金の契約



出典：エネルギー白書 2024

資料：資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」をもとに作成している

Report

以下であることが判明しました（図3）。同社は昨今の状況について「ホームセキュリティの価格引き上げも続く中、低価格で手軽に始められるA I カメラなどの防犯グッズも増えてきている」と説明しています。

こうした状況をうけ、防犯アドバイザーの京師美佳氏は「住居・車の防犯のポイントは、犯罪者が嫌がる4原則（音・光・時間・人の目）で対策すること」とコメントしました。

【図3】これから防犯対策を検討している人の月額の防犯対策予算（複数回答 n=440名）



来年1月1日以降に着工予定の建築物から「建築工事届」を改正

令和7年1月1日以降に着工予定の建築物から「建築工事届」が変わる方針です。

国土交通省は建築基準法施行規則及び建築動態統計調査規則の一部を改正する省令を10月1日に公布・施行。「建築工事届」の様式について、用途の分類を建築確認申請における用途区分と一致させるなどの改正を行うとしました。

主な「建築工事届」の改正は、①主要用途欄について、従来は中分類項目まで記載していたところ、大分類項目の区分に簡素化、②用途欄について、従来は使途区分の7区分から選択していた

ところ、建築確認申請の用途区分と同じ分類に変更、③建築物ごとの物件名を記入する欄を追加、④工事施工者について、担当者の氏名・連絡先を記入する欄を追加——など。

新様式は、着工又は除却の予定期日が令和7年1月1日以後である建築物について適用します。当該予定期日が令和6年12月31日以前の建築物については旧様式によることとするとしました。

【新様式】



新築住宅のキッチンで後悔 収納、形、コンセントの位置

（一社）あんしん解体業者認定協会は、「新築住宅のキッチンで後悔したことに関する意識調査」を実施し、その結果を発表しました。調査対象は新築を購入・建築した経験がある323人（女性213人／男110人）、調査期間が8月24日～9月7日となっています。

まず新築住宅のキッチンの種類を質問。「セミオープンキッチン」が半数近くとなる49.3%でした。セミオープンキッチンは腰壁によって手元が隠せるタイプ。オープンキッチンのような開放感がありつつも、作業台に置いている調味料・調理器具などは隠すことができ、油はねや水はねをある程度おさえられるメリットもあります。リビングダイニングと繋がっているため家族とコミュニケーションしながら料理でき、空間が広く見えやすいのもメリットです。一方、解放感とおしゃれさが人気の「オープンキッチン」を採用した人も35.6%と多くなりました。オープンキッチンは「アイランド」、「ペニンシュラ」など、設置方法によって動線が大きく変わるのが特徴です。

最後に新築住宅のキッチンで後悔したことを質問。最も多かったのは「収納が少ない・使いにくい」（84人）となりました。以下、2位「キッチンの形」（33人）、3位「コンセントの位置・数」（27人）が続きました。同社担当者は「収納、キッチンの形、コンセントの位置などは、実際に使ってみると『もっとこうだったら良かったのに…』と思うケースが多い」と指摘しています。

新築住宅のキッチンで後悔したこと		
1位	収納が少ない・使いにくい	84
2位	キッチンの形	33
3位	コンセントの位置・数	27
4位	作業台の高さ	25
同4位	作業スペースの広さ	25
6位	キッチンの材質	24
7位	キッチンが狭い	21
8位	食洗機をつけなかった・小さい	20

n=323(複数回答)上位8位

キタケイの提供する2つのプライベートブランド
環境・ぬくもり・素材をテーマとした各種住宅資材 “スプロートユニバーサル”
天然木にこだわったフローリングや壁材 “リラクシングウッド”
企画・製造から販売までトータルにプロデュース、心からご満足いただける住まいづくりを
バックアップします。



www.sprout-univ.com



www.relaxssingwood.com

リラクシングウッド
抗菌・抗ウイルス加工 フローリング ウイルスガードコート シリーズ

